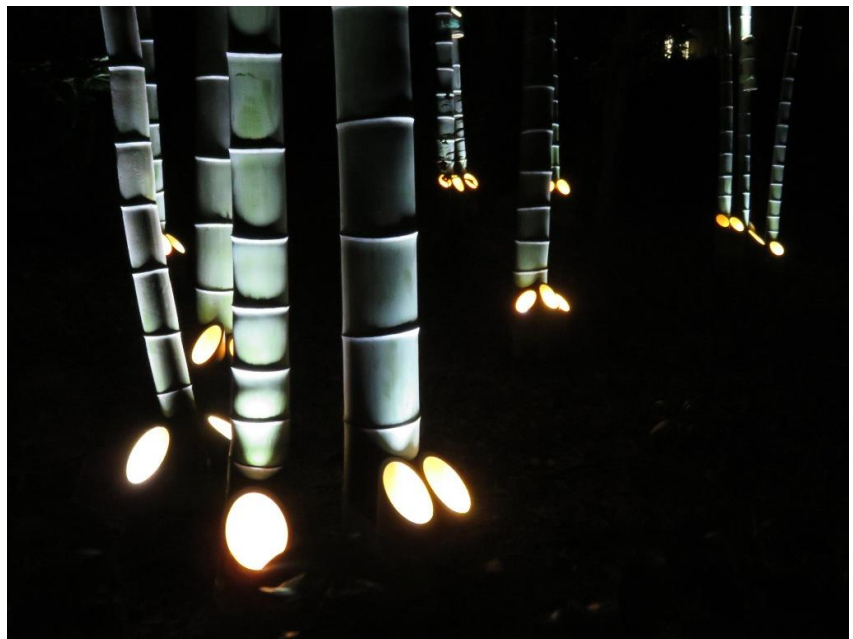


幻想的な灯りの中お月見が行われました！

3日（金曜日）、区立大田黒公園（荻窪 3-33-12）では、1000本ほどの竹灯籠の幻想的な灯りの中お月見が行われ、100名ほどの来場者が晩秋の「後の月」を楽しみました。このお月見の会は、5日まで開催されます。（雨天中止）

お月見というと、中秋の名月が有名ですが、日本ではもう一つのお月見として、旧暦の9月13日にも月見をする習慣があります。今年は、10月6日がその日にあたり、「後の月」「十三夜」「栗名月」などと呼ばれ、栗や枝豆をお供えしてお月見をしました。

会場の区立大田黒公園は、音楽評論家の故大田黒元雄氏の邸宅跡に作られた日本庭園です。大きな樹木がたくさんあって、都会の喧騒を忘れさせてくれます。その大田黒公園で、この時期ならではの特別企画として、昨年からお月見イベントを実施しています。通常は、夕方5時に閉園となりますが、このイベント中は、午後6時に再度開門して8時半までの2時間半を約1000本の竹灯籠の揺らめく灯りの中、公園内を散策したり、箏や木管五重奏の音楽演奏を聴きながら、十三夜のお月見が楽しめます。また、抹茶・和菓子の販売も行っていますので、これまでに来園したことがある方でも、一味違った公園の顔と出会えることまちがいありません。ぜひ、ご家族、ご友人とご来園ください。



【竹灯籠とお月見十三夜の会】

- ・期 間 平成26年10月3日（金）～5日（日）＊雨天中止
- ・時 間 午後6時～午後8時30分（入場は、午後8時まで）
- ・料 金 大人300円 小人（小・中学生）100円
- ・演 奏 午後6時10分～6時30分 箏の演奏
午後6時30分～7時10分 クラシック音楽の演奏
- ・その他 抹茶と和菓子の販売（1セット500円）

【報道機関 問い合わせ先】

大田黒公園管理事務所 03-3398-5814
総務部広報課 03-3312-2111